

- 1 開催日時 平成27年2月19日(木) 9時30分～11時45分
- 2 開催場所 中央生涯学習センター5階 人材かがやきセンター研修室
- 3 出席委員 16名  
増渕委員長, 大矢副委員長, 竹内委員, 伊藤委員, 中山委員, 宮本委員, 池田委員,  
松田委員, 坂本委員, 赤坂委員, 長谷川委員, 森野委員, 久保井委員, 齋藤委員,  
岸委員, 宇賀神委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名

6 議 事

(1) 報告事項

- ① 平成27年宇都宮市成人式の実施状況について
- ② 「地域かがやきプロジェクト」の実施状況等について
- ③ 人材かがやきセンター主催講座(後期)の実施状況について
- ④ 宇都宮市民大学(後期講座)の実施状況について
- ⑤ 宇都宮市生涯学習情報提供システム(マナビス)のリニューアルについて

(2) 協議事項

平成27年度生涯学習センター事業計画(案)について

7 発言の要旨

増渕委員長	それでは、議事に入りたいと思います。 報告事項①「平成27年宇都宮市成人式の実施状況について」、 事務局より説明をお願いします。
事務局	【資料について説明】
増渕委員長	生涯学習センター運営審議会委員の皆様も来賓として出席しております ので、ご意見やご感想などありましたらお願いします。 それでは、宇賀神委員をお願いします。
宇賀神委員	2点お伺いしたいことがあります。 1つ目は、出席率が低い中学校区の要因について説明がありましたが、 逆に、出席率が上昇した「宮の原中学校区」や「瑞穂野中学校区」などは、 どのような要因が考えられるのでしょうか。わかる範囲でお答えいただけ

ればと思います。

2つ目は、今後の成人式をより充実した事業とするために、新成人に対してアンケートを取っているかと思いますが、どのような要望等が記載されているのかを教えてください。

事務局

まず、宮の原中学校区の出席率が上昇した要因につきましては、今年度から新たに「宇都宮短期大学附属中学校」と「文星芸術大学附属中学校」が同じ中学校区に加わり、私立中学校卒業の新成人の多くは市内に住民登録がなく、そのような新成人が出席者数に多く含まれたことから、出席率が上昇したと考えられます。

また、瑞穂野中学校区につきましては、昨年度に比べて瑞穂野中学校を卒業した新成人が増加したことや、中学当時の学年やクラスのまとまりなど、複数の要因が考えられます。

増渚委員長

ありがとうございました。

続いて、坂本委員お願いします。

坂本委員

星が丘中学校区の出席率が107.1%と100%を超えているのはなぜでしょうか。

また、市長からのお祝いの言葉としてビデオメッセージを流しているかと思いますが、市長や教育長等の実際の出席状況はいかがだったのでしょうか。

事務局

まず、星が丘中学校区の出席率が100%を超えている理由につきましては、同じ中学校区として「宇都宮大学教育学部附属中学校」が含まれており、市内の他の中学校区に住んでいる新成人が集まるのが理由であると考えております。

また、市長や教育長等が出席した会場につきましては、市長は午前「宮の原中学校区」、午後「横川中学校区」へ出席しております。その他、教育長等につきましては、市長代理として各会場に出席しているところであります。

増渚委員長

ありがとうございました。

他に何かご意見ありますでしょうか。

それでは、長谷川委員お願いします。

長谷川委員

私は旭中学校区に出席させていただきましたが、護国会館ではなく、徒歩で行けるような地域に近い会場にいただければ、もう少し出席率が上がるのではないかと思います。来年度開催するにあたり、考慮していただければありがたいと感じました。

事務局	<p>会場の収容人数の関係や当時の卒業生数、また、各中学校区の区域と会場の位置状況等を考慮しながら、来年度の会場につきまして検討してまいります。</p>
増渕委員長	<p>ありがとうございました。 副委員長、いかがでしょうか。</p>
大矢副委員長	<p>私は旭中学校出身で、毎年、旭中学校区の成人式に出席させていただいております。自分の娘の成人式の時から、10年ぐらい成人式を見させていただいておりますが、地域の方で雰囲気を作り過ぎてしまっても良くないと思いますし、成人の自主的な意見も取り入れなければならないと思いますので、大変難しいかと思えます。我々の時代から経済状況なども大きく変化しておりますが、そうした環境の変化を考慮しながら事業に取り組んでいく必要があると思えます。</p>
増渕委員長	<p>ありがとうございました。 他にご意見ありますでしょうか。 それでは、2つ目の報告事項に移ります。 報告事項②『「地域かがやきプロジェクト」の実施状況等について』、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【資料について説明】</p>
西生涯学習センター所長	<p>【西生涯学習センターにおける「地域かがやきプロジェクト」の実施状況について説明】</p>
増渕委員長	<p>ありがとうございました。 ご意見、ご質問などありましたらお願いします。 それでは、竹内委員をお願いします。</p>
竹内委員	<p>西生涯学習センターの実施状況報告を聞き、大変すばらしいと思いました。 各地域のコミュニティセンターにおいて様々な講座を実施しておりますが、横の連携が取れていないように感じます。 そのような中、各生涯学習センターにおいて、地域に手を差し伸べるような講座を実施していただけることは、大変ありがたいという印象を持ちました。</p>
伊藤委員	<p>生涯学習課においては、市民参加型の講座に力を入れているような印象</p>

を受けますが、それ以上に、地域活動団体と連携した講座をより積極的に実施する方が地域の活性化につながり、地域の人達を講座に呼び込む力があると思いますので、もっと力を入れていくべきだと感じました。

事務局 地域活動団体と連携することにより、地域課題を的確に捉えた講座を実施することができると思いますので、私どもといたしましても、力を入れて取り組んでいきたいと考えております。

増渚委員長 ありがとうございます。  
他にご意見ありますでしょうか。  
それでは、中山委員お願いします。

中山委員 若い世代に団塊世代の活躍の場を示していかなければ、活動すること自体が難しくなってしまうのではないかと悩んでいるところです。

松田委員 私の雀宮地域でも様々な活動を行っていますが、若い世代につないでいけるように活動自体を整理していかなければならないと感じています。

増渚委員長 各地域において人材データバンクのようなシステム作りが必要なのかもしれませんが、個人情報保護の関係で簡単にオープンにすることができない時代ですので、それぞれの地域で知恵を絞っていくべき課題であると思います。

また、各生涯学習センターにおいても、団塊世代の方々の活躍の場をどうすべきかを、何か話し合いをする際のテーマの一つとしていただければありがたいと思います。

他にご意見ありますでしょうか。  
それでは、森野委員お願いします。

森野委員 時間的にも経済的にも余裕のある団塊世代ですが、活動の場に出るチャンスがないため、そのチャンスを作っていかなければならないということ、我々のような様々な組織において認識しておく必要があると思います。

増渚委員長 日本では、退職した後の人生をどのように生きることが自分にとっての生きがいにつながるのかという「退職準備教育」が遅れています。

知恵を出し合い、様々な能力をお持ちの方々に地域で活躍できる場をチャンスとして作っていくことが大切であるということ、当審議会委員の共通理解としたいと思います。

事務局 本日の報告事項の5番目にございます「マナビスのリニューアル」につきまして、今回の見直しの大きなテーマは、人材マッチングシステムを導

入ることであり、地域で活動したい方と活動してくれる人材を求めている団体とを結び付けるなど、人材バンクとして支援していくものでございます。

増渕委員長

ありがとうございました。  
他にご意見ありますでしょうか。  
それでは、坂本委員お願いします。

坂本委員

各地域に民生委員児童委員協議会があるかと思いますが、その中に「地域かがやきプロジェクト事業」を取り入れていただき、特に、虐待や不登校など、子どもへの支援につながるような事業を展開してみたいはいかがでしょうか。

事務局

来年度の人材かがやきセンター事業において、地域の中で活躍している民生委員児童委員の方々などを対象に、子どもの貧困問題をテーマとして講座を企画しております。

来年度以降につきましても、引き続き、地域の中で活躍している方々を対象とした講座を企画してまいります。

増渕委員長

ありがとうございました。  
それでは、次の報告事項に進みたいと思います。  
報告事項③の「人材かがやきセンター主催講座（後期）の実施状況について」と④の「宇都宮市民大学（後期講座）の実施状況について」は、共に講座の実施状況報告になりますので、事務局より一括して説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

増渕委員長

ありがとうございました。  
講座を実施しますと、アンケートを取っているかと思いますが、どのような回答がみられたのか教えていただければと思います。

事務局

「子育てママのためのみんなで親学」につきましては、0歳から2歳ぐらいまでのお子さんをお持ちのお母様方に来ていただいておりますので、子どもと離れて受講することに対して不安があったという声もありましたが、講師の話を中心して聞くことができ大変良かったというご意見や、子育てに関する日頃の悩みを他のお母様方と共有することができ良かったというご意見をいただいております。

また、「宮の朝活」につきましては、前期に出席した方の中から企画委員を選出させていただきまして、講座の最終回は、その企画委員の方々の企

画で進行いたしました。講座終了後も、企画委員を中心とした交流の輪が広がっているという効果が出ております。

「中1ギャップは怖くない」につきましては、中学校への入学時期に合わせて実施したことが好評を得ております。

増渚委員長

ありがとうございました。

他にご意見、ご質問などありますでしょうか。

特にないようですので、次の報告事項に移りたいと思います。

報告事項⑤「宇都宮市生涯学習情報提供システム（マナビス）のリニューアルについて」、事務局より説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

増渚委員長

ありがとうございました。

それでは、ご意見ありますでしょうか。

宇賀神委員、お願いします。

宇賀神委員

県内各市町における「マナビス」と同様のシステムについて、リニューアルをしているかどうかなど、お互いの状況等を把握しておく必要があると思います。

増渚委員長

宇都宮市が他市町より先行しているのであれば、情報を求められることもあるかと思えます。一度、他市町の状況等を確認しておいていただければありがたいと思えます。

続いて、伊藤委員お願いします。

伊藤委員

私も、マナビスを使用して講師や講座の情報を検索しております。

講師を検索する際に検索しやすい機能があり、1ページに10人の講師情報が掲載されております。

しかしながら、以前のマナビスでは画面をスクロールできましたが、現在のマナビスでは1ページずつクリックしなければならなかったため、検索に時間がかかってしまいます。以前のように画面をスクロールできるようにしていただくか、せめてアイウエオ順にしていただけないでしょうか。

事務局

只今のご意見を踏まえまして、業者と相談させていただきたいと思えます。

増渚委員長

ありがとうございました。

報告事項につきましては以上で終了したいと思えますが、よろしいでしょうか。

	<p>それでは、協議事項に移りたいと思います。</p> <p>協議事項「平成27年度生涯学習センター事業計画（案）について」、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	【資料について説明】
各生涯学習センター所長	【平成27年度生涯学習センター事業計画（案）における新規事業や実績を踏まえた変更点等について説明】
増渕委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様、いかがでしょうか。</p> <p>それでは、岸委員をお願いします。</p>
岸委員	<p>事業計画（案）の中の「学習相談・地域支援」という項目について、全ての生涯学習センターにおいて同じ内容が記載されていますが、27年度に向けて表現を統一したのか、以前からこのような表現であったのかを教えてください。</p> <p>また、「人間力の向上」とありますが、「人間力」という言葉は造語かと思えますので、「人間力」の定義がありましたら教えてください。</p>
事務局	<p>「学習相談・地域支援」という項目につきましては、新たな事業ではなく以前から継続して実施しているものでございまして、内容が同じであることから表現を統一しております。</p> <p>また、「人間力」につきましては、「自立した一人の人間として力強く生きていく力」と「社会を構成し運営する力」として、内閣府において定義しております。</p>
池田委員	文化祭と成人式以外の事業において、各生涯学習センターが共通の目標を持って取り組む事業はありますでしょうか。
事務局	資料2の下段に記載がございまして「地域学講座」や「郷土愛の醸成を図る講座」の実施や、「人権教育に関する事業」を講座の中に取り入れていただきたい旨のお願いをしているとともに、昨年の10月に「社会教育委員の会議」から提言がなされた「超高齢社会」、「子育て・子育て環境の変容」等の早急に対応すべき課題を解決するための講座につきましても企画していただきたい旨のお願いをしております。
伊藤委員	事業計画（案）の中に、「地域かがやきプロジェクト事業」を活用する等の文言を入れるなど、各生涯学習センターに向けて、「地域かがやきプロジ

ェクト事業」のより積極的な活用を働きかけた方が良いのではないのでしょうか。

事務局

「地域かがやきプロジェクト事業」を活用する講座につきましては、当初予算では企画することができなかった講座などが想定されますので、年度当初から予定している講座が記載されている事業計画（案）には掲載されておられません。

しかしながら、日頃から各生涯学習センターへは、地域課題に力点を置いて講座の企画に取り組むようお願いをしており、そのためには地域の協力が必要不可欠であります。今後ますます地域との結び付きを強化しながら、地域課題解決に向けた講座に取り組んでまいります。

齋藤委員

日々悩みながら子育てをしている家庭が多い中、各地域において子どもに関わる事業が多く実施されており、大変心強くありがたいと感じております。

今後は、学ぶ意欲はあるが時間がない、経済的に余裕がないなどの一人で子育てをしている親へのアドバイスや心のケア等も必要だと思います。

久保井委員

私は保育士として働きながら子育てをしておりました。私自身、このような生涯学習センター事業があることを知らず、知っていればもう少し自分自身を助けられたかと思えます。勤めていますと、地域の様々な事業をなかなか利用することができませんので、今後どのようにして利用を呼びかけていくかが課題であると思えます。

宮本委員

東生涯学習センター事業計画（案）の「子ども国際理解サマースクール」や、上河内生涯学習センター事業計画（案）の「世界の国からこんにちは」という講座については、グローバル社会への対応としてありがたいと思えます。生涯学習課あるいは生涯学習センターとして、異文化理解や多文化共生について、どのような考えをお持ちなのか伺いたいと思えます。

事務局

異文化理解や多文化共生につきましては、現代的課題の一つとして捉えており、各生涯学習センターにおいて積極的に推進していただきたいと考えておりますが、少子高齢化等の他の現代的課題とも比較しながら講座を決定しておりますので、全ての生涯学習センターにおいては実施できていないということが現状でございます。

増渕委員長

ありがとうございました。

それでは、「平成27年度生涯学習センター事業計画（案）」につきましては了承いただけたということでもよろしいでしょうか。

以上をもちまして、本日の議事は全て終了しました。皆様には、会議の



進行にご協力いただきありがとうございました。

それでは、事務局の方へお返しします。

事務局

ご審議大変ありがとうございました。

それでは、「その他」に移らせていただきます。

生涯学習課長より、閉会にあたりごあいさつを申し上げます。

生涯学習課長

**【委員改選の説明と、委員への謝辞】**

事務局

本日は増淵委員長を始め、委員の皆様、長時間のご審議誠にありがとうございました。

以上をもちまして、平成26年度第3回宇都宮市生涯学習センター運営審議会を閉会いたします。